

㊦歩行者の目線からみた様子

■デザインイメージ



各橋りょう附属物について

①高欄

- ・素材は、自然石とする。
- ・形状は、神社内の舞殿の手摺りのプロポーション(形状)を参考とする。

②親柱

- ・素材は高欄と合わせ、現況の御園橋に使用されている擬宝珠を使用する。

③歩道舗装

- ・素材は、雨天時の滑りやデザインの豊かさを考慮し、擬石平板とする。
- ・賀茂川紫竹線、御園橋801商店街の歩道と一体感のあるデザインとし、色彩は無彩色を用いる。

④防護柵

- ・歩道と車道の境界には、歩行者の安全や車両の転落防止のため、車両用防護柵を設置する。
- ・色彩は、高欄の色彩と同調させ、無彩色(灰色系)とする。
- ・高欄のプロポーションに合わせ、形状は横ビームタイプとする。

⑤照明

- ・色彩は、高欄の色彩と同調させ、無彩色(灰色系)とする。
- ・LED照明とし、存在感を主張しないシャープなデザインとする。

⑥その他

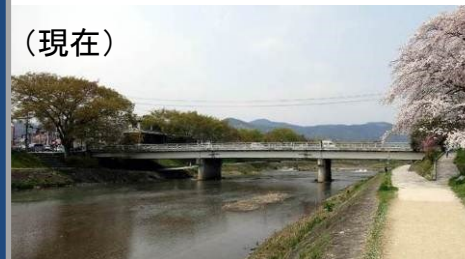
- ・景観面の向上のため、柵隠しを設置する。色彩は、汚れが目立ちにくいことや京都の伝統色であることを考慮し、媚茶色系とする。
- ・来訪者を温かく迎えるように歩道照明を防護柵の足元に設置する。

①橋面の景観

■デザインイメージ



㊧賀茂川からの景観



■デザインイメージ

